

独立監査人の監査報告書

平成30年5月20日

社会福祉法人 教證会
理事会 御中

中山公認会計士事務所

公認会計士

中山定夫 

私は、監査報告を行うため、社会福祉法人教證会の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の計算書類、すなわち、法人単位資金収支計算書、法人単位事業活動計算書、法人単位貸借対照表、財務諸表に対する注記について監査を行った。

計算書類に対する理事者の責任

理事者の責任は、社会福祉法人会計基準に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の計算書類が、社会福祉法人会計基準に準拠して、社会福祉法人教證会の平成30年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

社会福祉法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上